



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月13日

上場会社名 株式会社 コメ兵 上場取引所 東 名
 コード番号 2780 URL http://www.komehyo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 卓児
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部担当 (氏名) 鳥田 一利 TEL 052-249-5366
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,439	10.4	92	△71.9	81	△74.9	49	△76.4
2019年3月期第1四半期	11,271	14.4	329	90.3	326	76.2	211	110.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 34百万円 (△84.4%) 2019年3月期第1四半期 219百万円 (116.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	4.55	—
2019年3月期第1四半期	19.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	31,916	19,663	60.9	1,773.11
2019年3月期	30,507	19,800	64.1	1,785.63

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,426百万円 2019年3月期 19,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	27,000	15.8	458	△6.5	427	△14.3	243	△24.4	22.18
通期	56,400	10.7	1,329	△28.6	1,261	△31.0	727	△28.0	66.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
（注）特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社フォーバイフォーエンジニアリングサービスの株式を取得しグループ会社化したため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	11,257,000株	2019年3月期	11,257,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	300,533株	2019年3月期	300,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	10,956,467株	2019年3月期1Q	10,956,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、東京証券取引所への決算発表後、速やかに当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られましたが、株価の低迷や食料品価格の上昇による消費者の節約志向などから、個人消費全体は力強さを欠く動きとなりました。

このような環境の中、当社グループは、総流通量(GMV)の拡大を図ることによる中長期的な収益力強化の経営戦略を目指すべく、出店や買取イベントなどの買取強化、及びオークションなどの法人事業強化に取り組みました。また、タイヤ・ホイール事業の取り扱い商品の専門性及びブランド力強化を図るため、2019年5月に株式会社フォーバイフォーエンジニアリングサービスをグループ会社化いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は12,439百万円(前年同四半期比10.4%増)、営業利益は92百万円(同71.9%減)、経常利益は81百万円(同74.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円(同76.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業では、新宿店の移転計画に伴い「KOMEHYO 新宿店時計館」を出店、また、個人買取強化のため、「KOMEHYO 買取センター新小岩南口」を出店いたしました。

中古品仕入高につきましては、買取イベント等の積極的な買取促進施策が奏功し、既存店を含む個人買取が順調に推移したことから、個人買取仕入高は6,078百万円(前年同四半期比16.9%増)となりました。

売上高につきましては、個人買取の好調に伴う商品確保が順調に推移したことを背景に、セール等の販売促進施策やオークション等の法人向け販売強化により堅調に推移いたしました。

営業利益につきましては、売上高は増加したものの、新宿店移転計画に伴う地代家賃や業容拡大による人件費等の経費が増加したことから、減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は11,701百万円(前年同四半期比12.8%増)、営業利益は184百万円(同46.2%減)となりました。

② タイヤ・ホイール事業

タイヤ・ホイール事業では、中古専門店「U-ICHIBAN」の1店舗新規出店に加え、「クラフト」3店舗を「U-ICHIBAN」に転換するなど、中古タイヤ・ホイールの販売強化に努めましたが、主に新品タイヤの販売が伸びなかったことなどから、前年同四半期に比べ減収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は716百万円(前年同四半期比18.5%減)、営業損失は95百万円(前年同四半期は23百万円の営業損失)となりました。

③ その他の事業

当第1四半期連結会計期間末の主な不動産賃貸物件は4カ所であります。

当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は24百万円(前年同四半期比22.5%減)、営業利益は3百万円(同62.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は31,916百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,409百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産1,729百万円の増加並びに建物及び構築物(純額)277百万円の増加が、現金及び預金823百万円の減少を上回ったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は12,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,546百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金1,800百万円の増加が、未払法人税等309百万円の減少を上回ったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は19,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当175百万円が、親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円の計上を上回ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.9%(前連結会計年度末は64.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,487,100	4,663,364
売掛金	1,740,579	1,793,261
たな卸資産	11,551,254	13,281,069
その他	1,636,591	1,937,252
貸倒引当金	△216	—
流動資産合計	20,415,309	21,674,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,164,122	3,441,319
土地	1,608,267	1,608,267
建設仮勘定	281,832	7,660
その他(純額)	691,275	807,343
有形固定資産合計	5,745,498	5,864,590
無形固定資産		
のれん	573,969	556,597
その他	318,770	335,222
無形固定資産合計	892,740	891,820
投資その他の資産	3,453,872	3,485,079
固定資産合計	10,092,111	10,241,489
資産合計	30,507,421	31,916,438
負債の部		
流動負債		
買掛金	633,859	573,134
短期借入金	2,710,000	4,510,000
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
1年内返済予定の長期借入金	893,110	908,943
未払金	795,955	811,419
未払法人税等	416,981	107,744
賞与引当金	511,082	641,248
商品保証引当金	16,587	14,027
ポイント引当金	59,880	63,414
資産除去債務	46,135	46,695
その他	372,821	442,807
流動負債合計	6,528,411	8,191,435
固定負債		
社債	428,000	392,000
長期借入金	3,301,839	3,115,251
役員退職慰労引当金	30,207	30,207
商品保証引当金	1,292	1,117
ポイント引当金	107,944	119,969
退職給付に係る負債	12,810	18,760
資産除去債務	278,278	357,295
その他	18,001	27,289
固定負債合計	4,178,374	4,061,890
負債合計	10,706,786	12,253,325

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,909,872
利益剰余金	15,956,492	15,831,082
自己株式	△80,331	△80,331
株主資本合計	19,589,812	19,464,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,200	9,392
為替換算調整勘定	△37,763	△46,808
その他の包括利益累計額合計	△25,563	△37,416
非支配株主持分	236,386	236,127
純資産合計	19,800,634	19,663,113
負債純資産合計	30,507,421	31,916,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	11,271,841	12,439,482
売上原価	8,047,576	9,018,437
売上総利益	3,224,265	3,421,045
販売費及び一般管理費	2,894,296	3,328,310
営業利益	329,968	92,734
営業外収益		
受取利息	390	328
受取配当金	898	5,757
為替差益	5,505	—
受取手数料	344	1,204
受取保険金	—	8,000
その他	803	2,327
営業外収益合計	7,943	17,618
営業外費用		
支払利息	4,014	6,571
為替差損	—	9,667
持分法による投資損失	7,666	10,662
その他	168	1,544
営業外費用合計	11,849	28,445
経常利益	326,063	81,907
特別利益		
固定資産売却益	423	1,865
負ののれん発生益	—	15,918
特別利益合計	423	17,783
特別損失		
固定資産除却損	3,372	1,865
特別損失合計	3,372	1,865
税金等調整前四半期純利益	323,114	97,826
法人税等	112,027	51,626
四半期純利益	211,086	46,199
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	—	△3,694
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,086	49,893

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	211,086	46,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△672	△2,808
為替換算調整勘定	12,801	△12,020
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,596	2,975
その他の包括利益合計	8,532	△11,853
四半期包括利益	219,619	34,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,619	37,781
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,435

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、当該法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社フォーバイフォーエンジニアリングサービスの株式を取得しグループ会社化したため、連結の範囲に含めております。